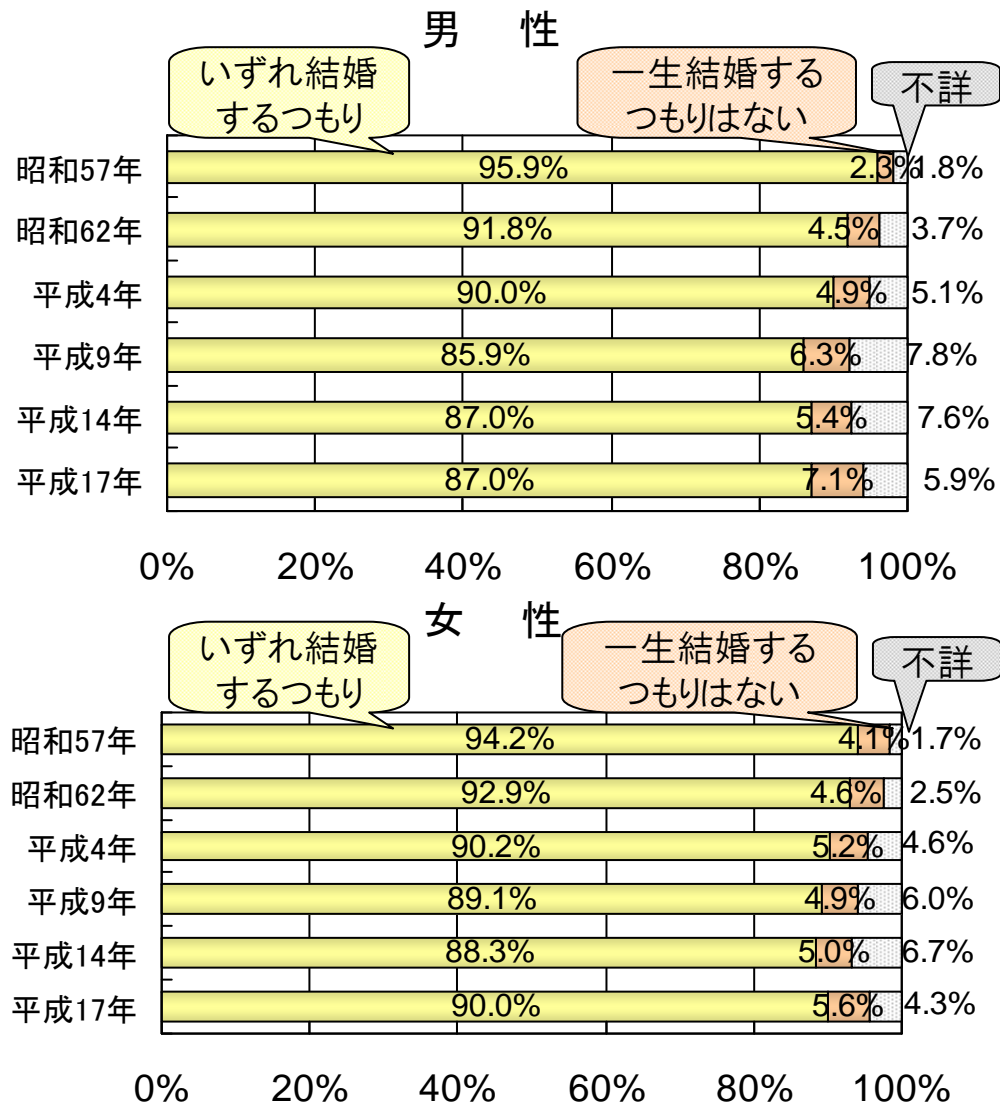


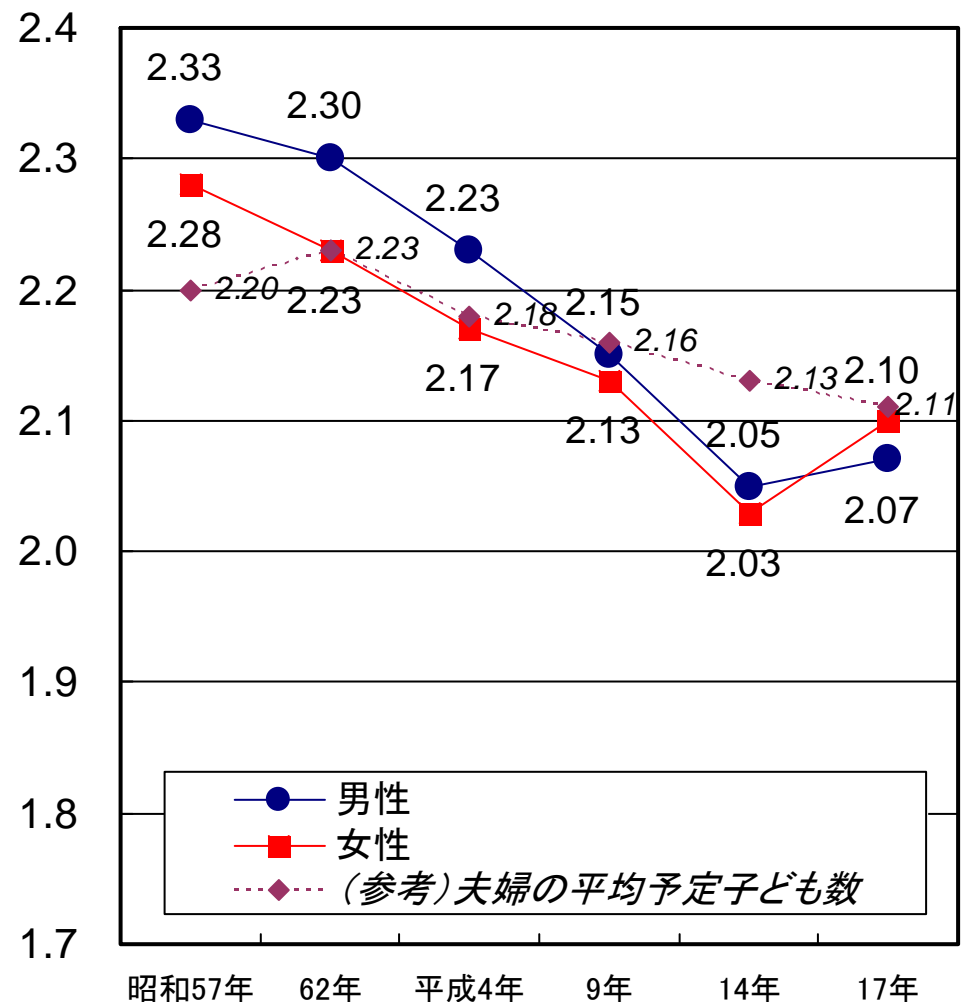
国民の結婚や出産に対する希望

独身男女の約9割は結婚意思を持っており、希望子ども数も男女とも2人以上。

○「生涯の結婚意思」について



○「いずれ結婚するつもり」の未婚男女の希望子ども数

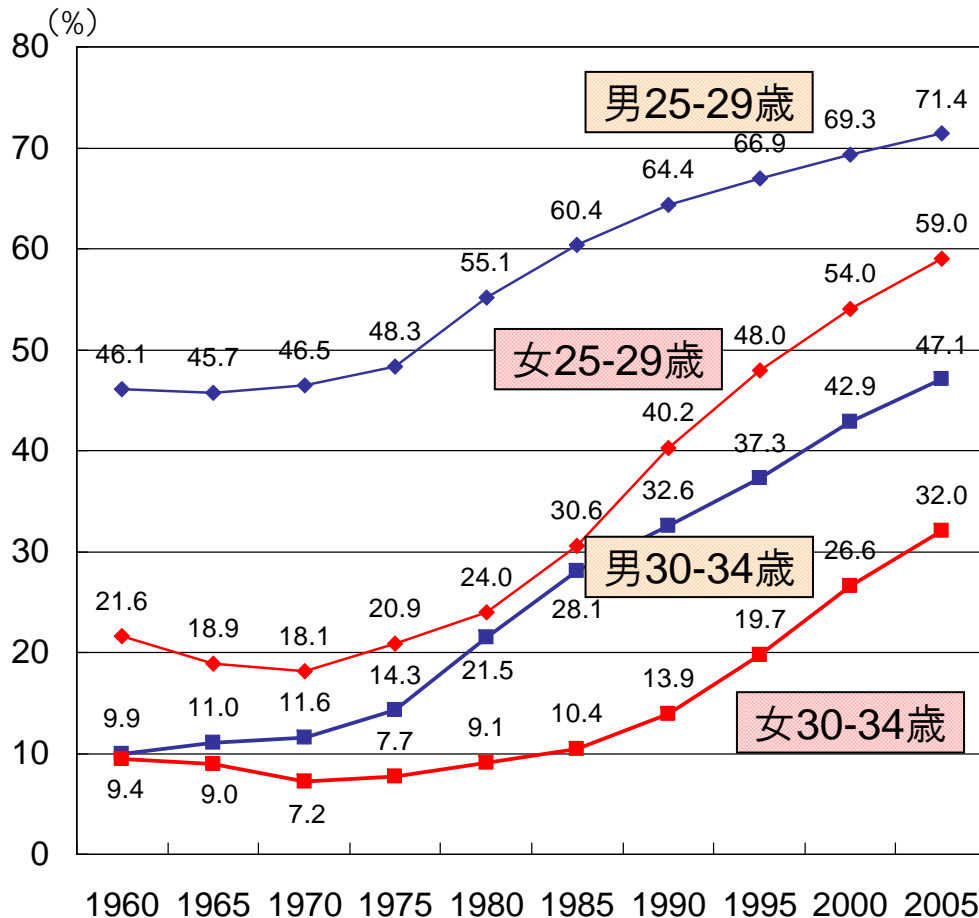


資料：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」(調査対象は18～34歳の未婚者) 20

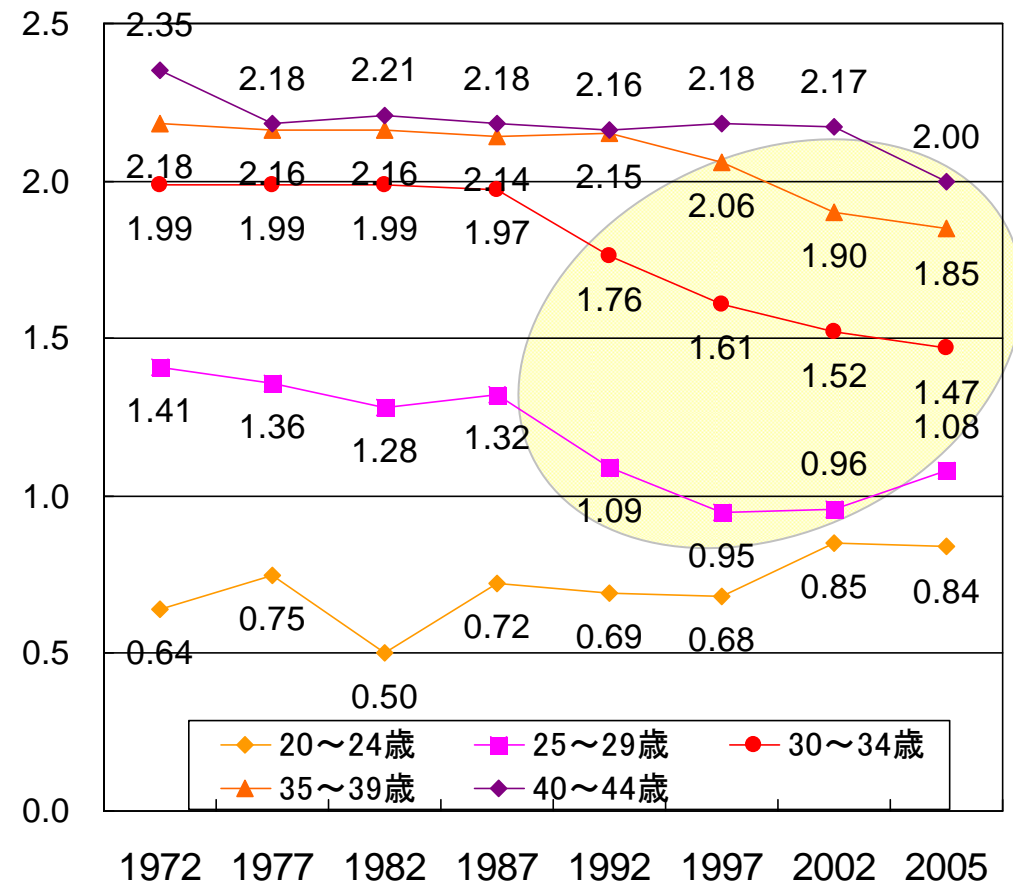
出生率低下の要因

- 出生率低下の人口学的な要因は、「晩婚化の進行」と「夫婦出生児数の減少」。
- 未婚率は男女とも依然上昇傾向にあり、晩婚化の進行は継続。
- 結婚した夫婦からの出生児数が1990年代以降減少傾向。1960年代生まれ以降の世代では、これまでのように最終的な夫婦出生児数が2人に達しない可能性も。

○年齢別未婚率の推移



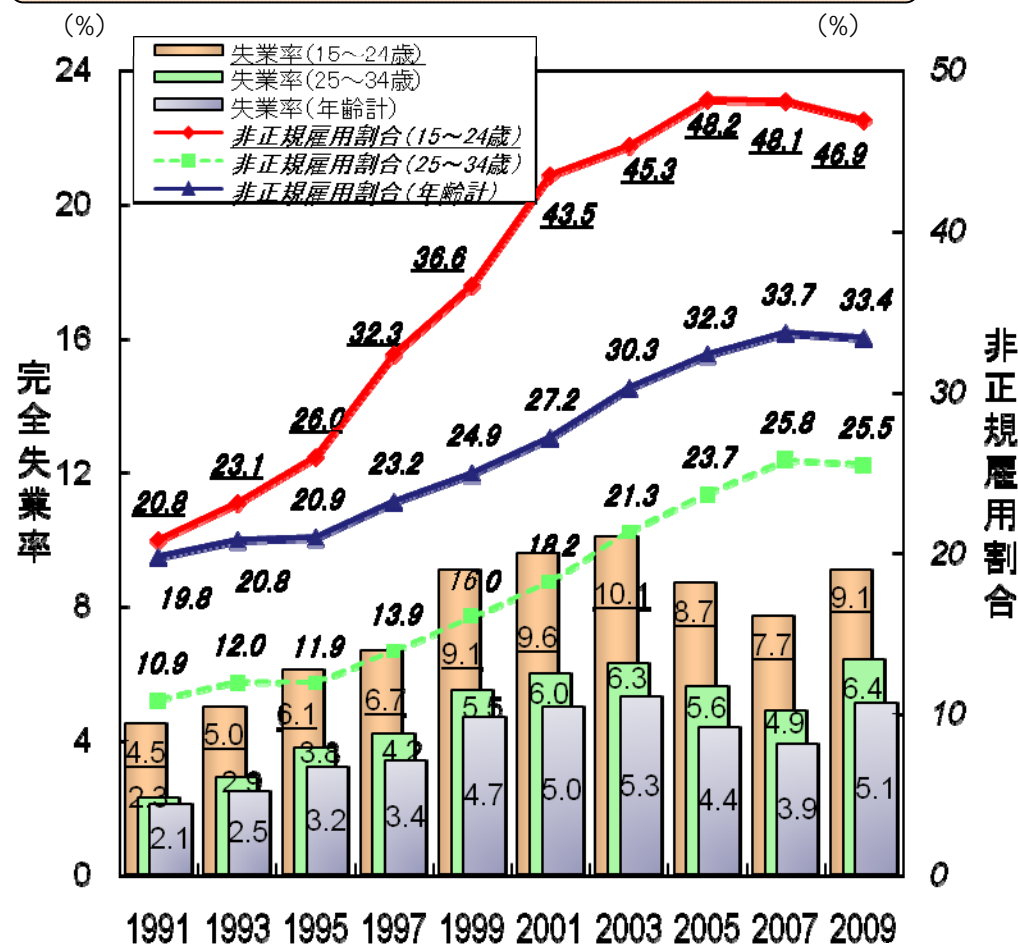
○夫婦出生児数の推移(妻の年齢別)



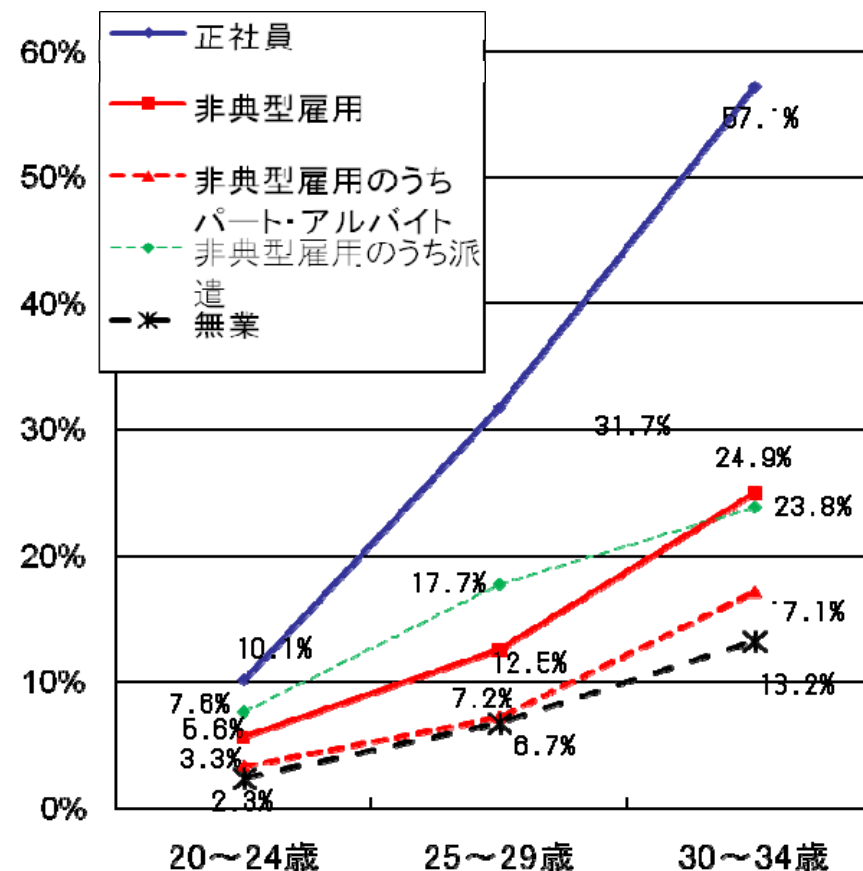
結婚や出産をとりまく状況(1)若年者の非正規雇用の増加

- 若年者の失業率は、依然として高水準。非正規雇用割合は依然高い。
- 非正規雇用者の有配偶率は低く、雇用の不安定が結婚に当たっての「壁」となっている。

若年者の失業率と非正規雇用割合の推移



就労形態別配偶者のいる割合(男性)



資料：総務省統計局「労働力調査」、「労働力調査特別調査」、「労働力調査詳細結果」、労働政策研究・研修機構「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状」(2009年)

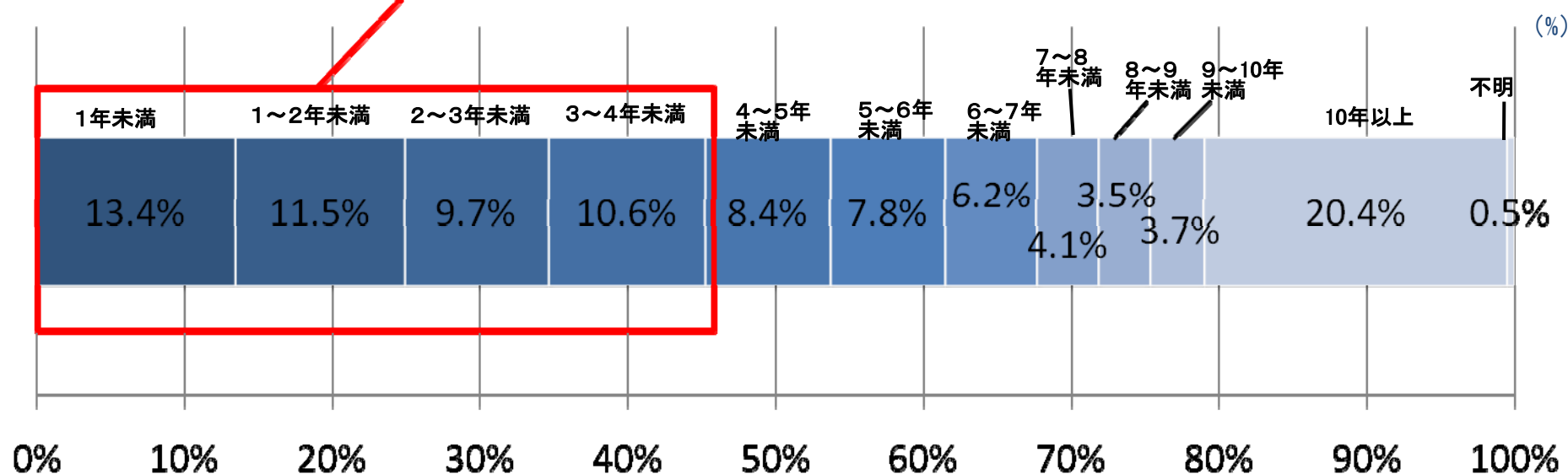
(注) 1. 失業率については、各年の平均。

2. 非正規雇用割合、非正規雇用者数については、平成13年までは「労働力調査特別調査」(2月調査)、平成14年以降は「労働力調査詳細結果」による。調査月(平成13年までは各年2月、平成14年以降は1~3月平均の値)が異なることから、時系列比較には注意を要する。

女性のパート等労働者の勤続期間別割合

女性のパート等労働者のうち、4年未満で離職する割合は45.2%。
特に、2年未満で離職する割合は、24.9%と全体のおよそ4分の1を占めている。

4年未満で離職する割合(45.2%)



出典：パートタイム労働者総合実態調査(平成18年)